



RUROUNIKENSHIN FANBOOK

不実を促す其の心

白虎桜花堂

雪代縁×神谷薫

— 成人向け —

R18
ADULT ONLY

18歳未満
購入・閲覧禁止

東京での慌ただしい
日々がまるで
何かの苦行であつた
かのように

たつた今この環境が
それに耐えてきた
彼女に対する
褒美であるかのよう
な錯覚を覚える程
の甘い囁きだつた



俺を選べ

幸せに
してやる





今までが幸せでは
なかったとしても
言いげたな彼の一言は

彼女が無意識の中、
奥底に押し込めていた
不安や苦しみの種を
かき乱すのに

十分な重みを
持っていた

あるところに姉を
人斬りに殺された
憐れな少年がいました



人斬りへの恨みを
一秒たりとも
忘れることなく



いつしか少年は
青年となり、異国の地で
金と権利と武力を
手に入れました



青年は日本に帰り、
人斬りを陰で監視しては
復讐のその時を
虎視眈々と狙っていました

そんな中、少年は
人斬りの周りをウロつく
とある少女に出会います



少女は可憐かつ
清廉で美しく
失った姉の面影を
漂わせる不思議な
存在でした

姉を失った失意のせい
あらゆるものを手にしても
青年は満たされることが
なかったにも関わらず



少女の健気で
華やかな
姿を日がな
眺めるうちに

青年は恋に
堕ちました



監視を続けているうちに
人斬りは少女の家に
転がり込み、また少女に外に
働かせている事を知ります

自分は働きにも行かず
片手間に家事をしたり
竹林へ散歩に出掛けたり



青年は怒りで腑が
煮え繰り返りました

と同時にとある使命感が
芽生えました



人斬りの目を

そして少女に救済を



少女を自らの邸宅に
連れ去り、ともに
暮らすことを強く
望みました。

そしてその強い
思いは、青年に
ある作戦を決行
させるのでした。

ほら
薫殿

今日は夕陽が
綺麗でござるな

きゃッ
ギー

.....

今の拙者を巴が
見たらびつくり
するでござろうな

スッキッ

やっぱり拙者にとって
帰る場所は神谷道場
だけでござるし

何度でも言うが
拙者がたたいま
言葉を使ったのは

薫殿……

すッ

!

へえ
そうなんだー

人目も憚らず
口づけを望むことの
浅ましさを
たるや



なるほどね…

しくったな
抜刀斎

それにしても
今日も薫は
可愛いなー

近づけたと自信に
満ちることの
図々しさを
たるや

その遣る瀬無さ
たるや



フー
ヤレヤレ



オオオオオ



ふに

温かくて
柔らかい



あの腐りかけの
屍人形とは
似ても似つかないな

我的女神
神谷薰

愛の巣へ
ようこそ





さー我が作品が
いかに精巧で忠実か
現物と比較してみるか

どれ

誰が薫に触れて
いいと言った？

次は殺すぞ

上陸した奴らにも
そう伝えてくだサイ

あ、ああ…

薫の着替えを
持って来マス

解ったら
さっさとこの
部屋から
出て行け

イテテ：

散々だな

パチッ







あとで構ってやる
から自分の部屋で
待ってろ

はい

ねえ：
あれは何？

すごい！初めて見た
こんなに色んな国が
あるのね！

地球儀：
地球！

地球儀か？

時間
切れー

正解聞いてから
答えるなよ

あつた！
ここー！

小さく書いてるのよね？
探せば見つかるかしら？

ここが日本だろ
俺がいた大陸は
どこでしょう？

???







怖かったな…
やっぱり解り合う
ことなんて出来ない
のかなあ…

ガッ
タ
ヤッ

ああやって剣心に
凄まれたことは
一度もなかったな

そういえば…

ポ
ロ
ッ

泣くな私…
何もこんな
生活がずっと
続くわけじゃない

いつか剣心が
私をむかえにつて

どうして迎えに
来てくれないの…?

剣心……

ほ
ろ

ほ
ろ

カチャツ

さつきは
悪かった

これ赤珊瑚
薫に似合うと思って
実は前から！

いない…

別に欲しく
ない…！

……。

俺に良い考えが
あるんだ…

これまでの事、全部
なかったことにして
俺と新しい生活を
はじめないか？

今までのこと
全部捨てて…！

少し、話を
しようか

薫

抜刀齋がこのまま
この場所に来なければ

いずれお前を東京に
帰そうと思っていた

搜索願だつて出されて
いるだろう
いつか抜刀齋ではなく
警察がお前を確保する
かもしれない

しかしお前の意思で
ここにしているとしたら
手出しの仕様はない

すべてお前の
意志で決まる

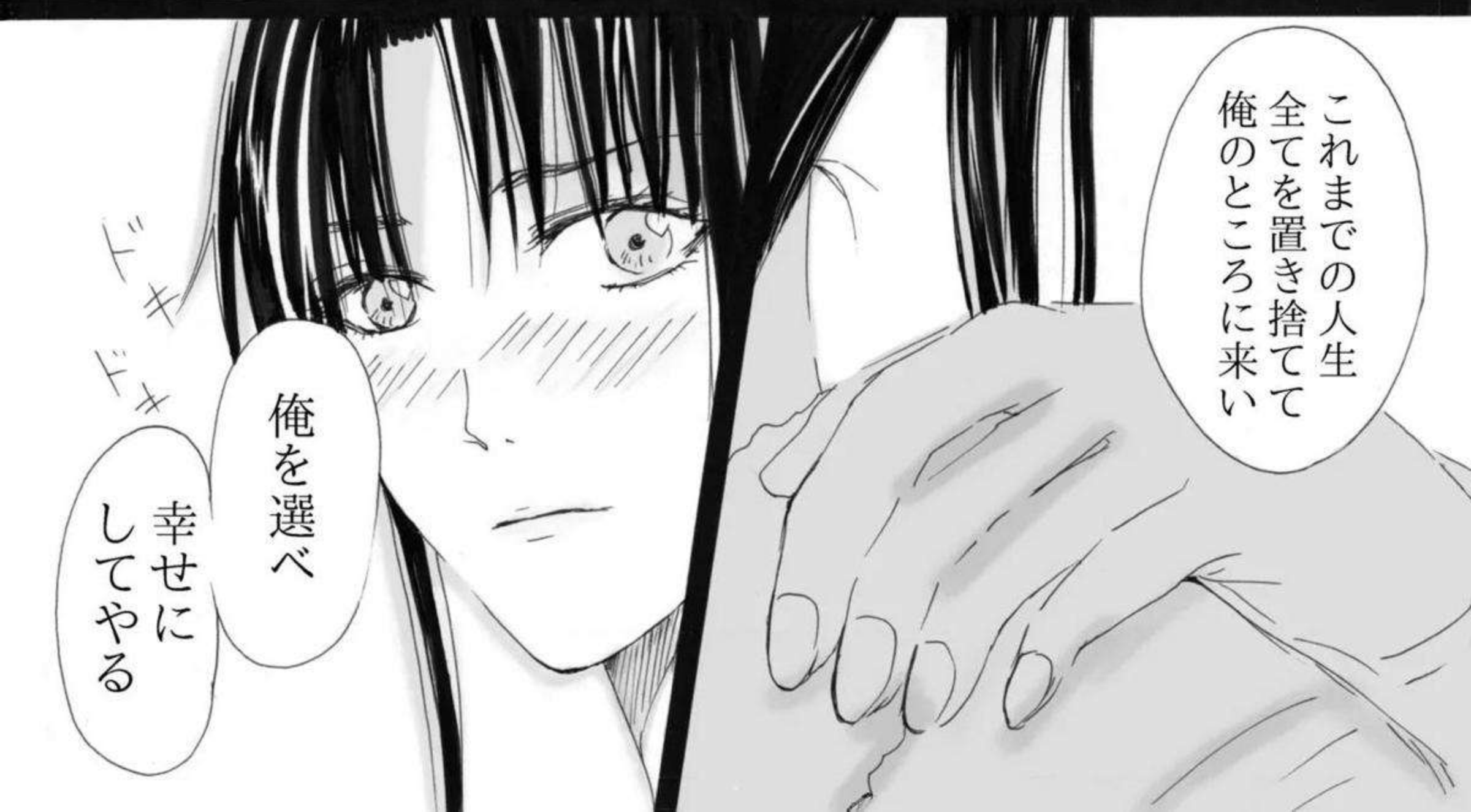
俺は武器商人組織の
マフィア
頭首を辞めて新しい人生を
歩むつもりだ

もう一度
問う



俺はお前の
ことが好き

だからこれから
一緒に新しい
人生を歩んでくれ



これまでの人生
全てを置き捨てて
俺のところ来い

俺を選べ

幸せに
してやる



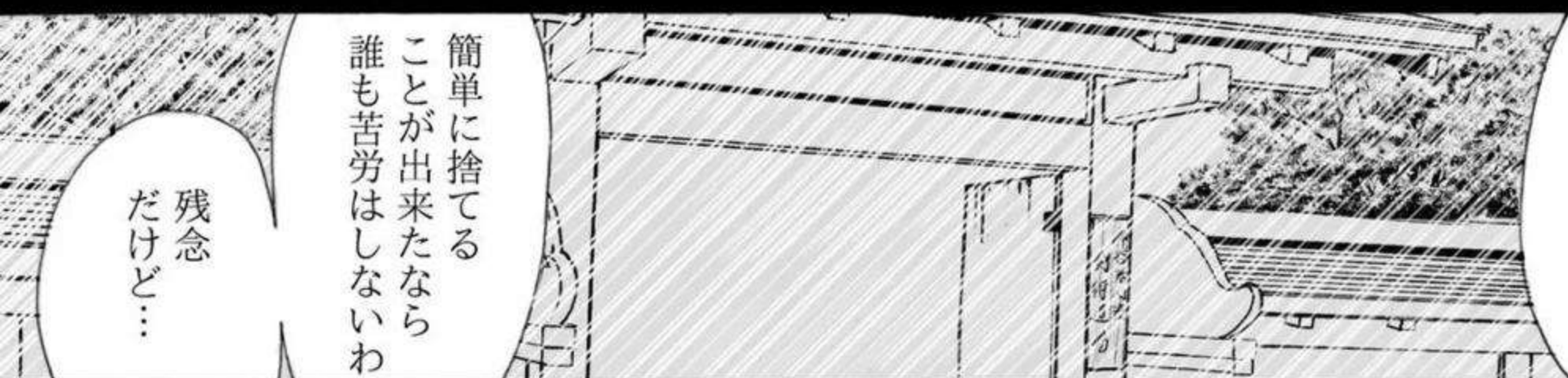
きっと剣心はいずれ
必ずここにやって来る

それに弥彦はまだ
子供だし、ちゃんと
保護者がいないとー



そんなわけには
行かないわよ…

待って



父が残した流派や
道場も途中で
投げ出したり
したくない

簡単に捨てる
ことが出来たなら
誰も苦労はしないわ

残念
だけど…



ふっ



あははは

縁、必死すぎ

キャッ

キャッ

なんか
カワイイー！



残念？

残念だと思っ気持ちが
ある時点でちつとも断る
理由になってねーぞ

今のその台詞も
遠回しに俺と
生きたいと言ってる
ようなもんじゃねーか

でも
嬉しい

そんな事言われたの
生まれて初めてよ

ちゃんと私のことを
好きだと言ってくれたのは
貴方が初めてだわ

だからまだ少し
考えさせてね

解った…ただ一つ
俺からの要望を
聞いてほしい

もっと奥まで
君の事が知りたい…

ありがとう



あの…

私、やっぱり
ごめんなさい…

心の準備が
———

厭か？



イヤじゃないの
縁が嫌いなわけじゃ
なくてー

安心しろ

何もなかった
事になるなんて
嘘だわ

この島では俺とお前の
二人だけ。何か間違いが
起きたとしても さざ波の
音が全てをかき消して

明日には何も
なかったことになる

私は絶対
忘れないもの







やッ：
そこ：

ああッ...

汚いから
ダメエエ...

月並みだが
お前に汚い
箇所などない



本当に駄目：
お願いもう
やめて：

勘違い
するなよ

緋村の時と
違って主導権は
お前にねーから

お前、
想像以上に狭いな

そんなに掻き
回さないでえ...





はあッ

はあッ

はあッ

薫...
愛してる

縁... 激し
！...！

ずりゅっ

薫ッ……!

ズッ

頭チカチカ
するうッ!

ズッ

気持ち
いいよお

ナカ奥まで
当たってるの……!

ビクッ

お願いもって
優しくして……

ナカ、
壊れそう

け……んしん

ああ!?

他の男の名前
呼んでんじゃねーぞ
くそガキが!

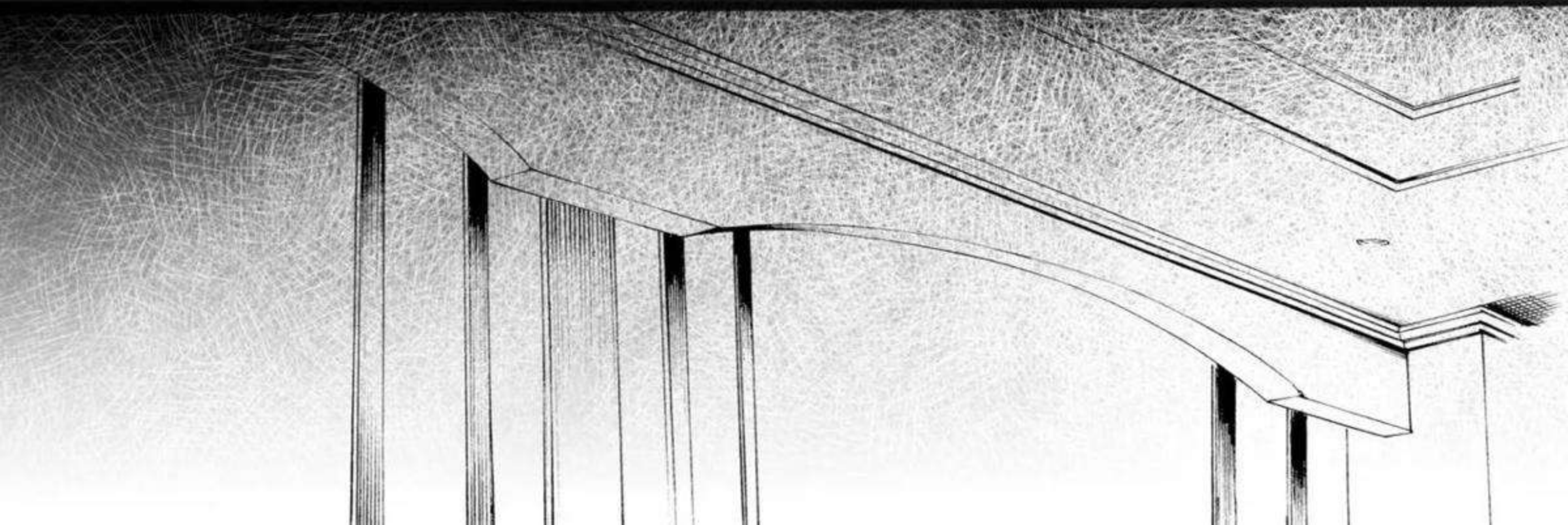
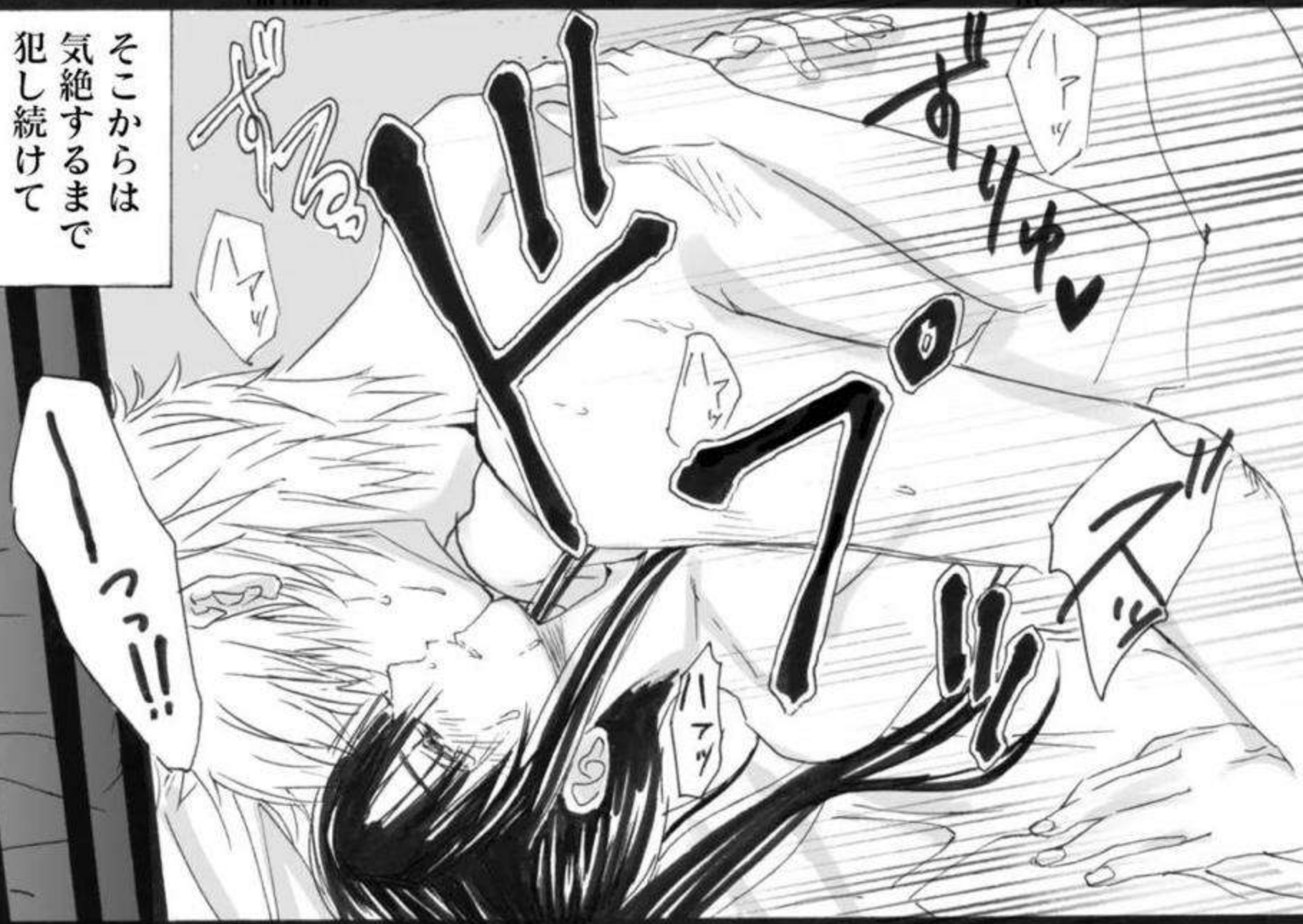
ズッ

俺のモノになる
見込みがねーなら
このままブツ壊して
やろうか!

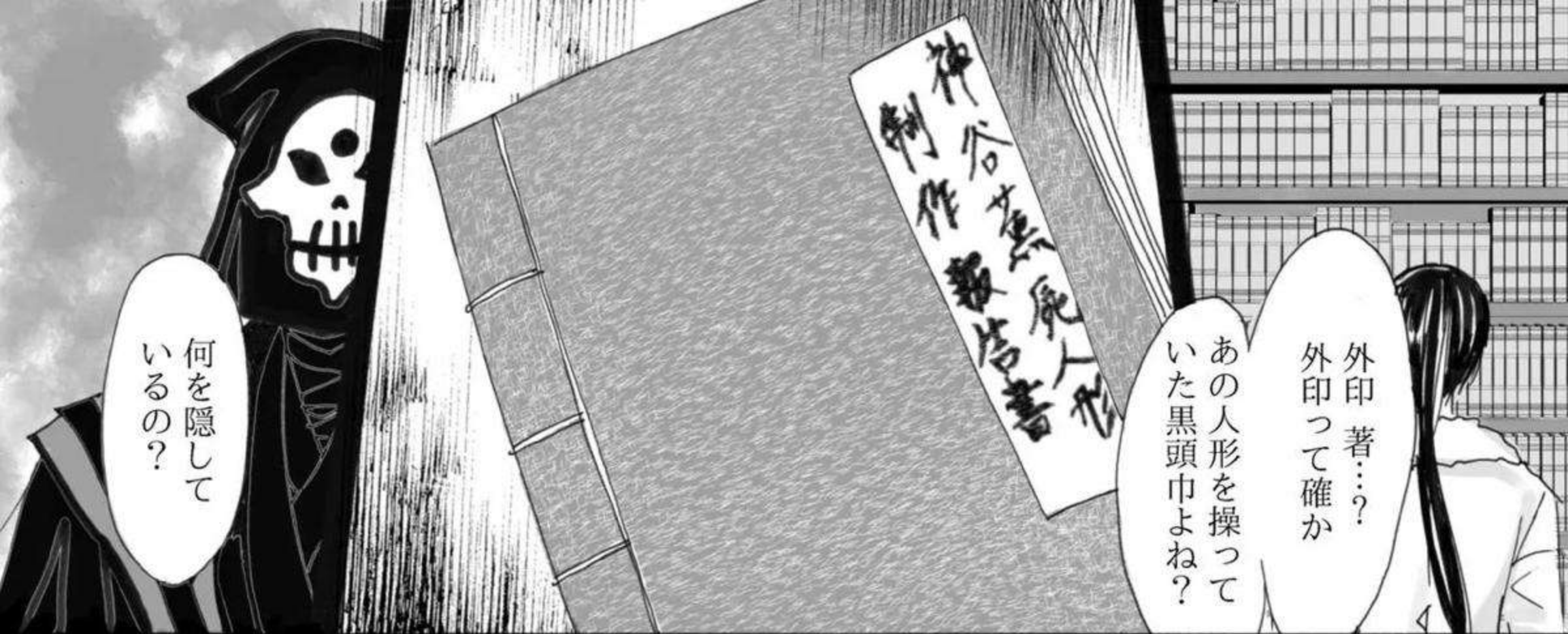


そこからは
気絶するまで
犯し続けて

果てたあとの
事は覚えて
いない







色素が薄く肌は
透き通るように白い
瞳は代赭色

見られてた…
一体どこから

道着の隙は
髪留めなし

剣で鍛えた体軀は
しなやかかつ華奢

あまり筋肉に
ならないのは
体質の特性が

表情
隠す

髪はまるで絹糸の
ように繊細。束ねた時、
毛束が細いゆえに
全身の体毛が薄い

気持ち悪い…

首と四肢の長さ、
腰の高さは特筆すべき
ところ、各寸法は
後日採寸予定

剣をやっている割に
痣がないどころか
身体に贅はなし！

〇月〇日
雪代氏に完成した
しかし人形を披露

ひどく気に入る
一晚、枕を共に
したいとの依頼アリ
承諾する

嘘でしょう…

外傷は特になし
安堵する、が
多少の遺憾アリ

腔内のものを
掻き出し、洗浄—
再び完成

いやあああああ

縁

これは、一体何！
私の人形ってどういう事

今、剣心の身に
何が起こっているの

今すぐ私を
東京へ返して！

こんな気味の悪い
場所、一秒たりとも
いたくない！

せっかく貴方のこと
好きになりかけていたのに
とんだ道化だわー

死体を繋ぎ合せて
私に見立てるですって
……？

そんな非人道的なこと
平然と行えるような人
わたしは絶対好きには
ならない！

愛する家族を目の前で
失ったその苦しみは
私には計り知れない

でもやっていい事と悪い事の
分別もつかなくなるなんて
貴方は完全にイカれてる

貴方は骨の髄まで
闇に染まったケダモノよ！

薫……

触らないで!

バ
ア
ッ

お願い…東京へ帰して
じやないと私…

悪かった

!?

謝って済む問題じや
ないと思っている

謝って済むならとうに
俺は奴を許している
はずだからな

カ
ラ

お前を想う気持ちが
行き過ぎていた…
それ程お前をこの館に
連れて来たかったんだ

それは姉サンの
形見の短刀だ

それで俺を
殺してくれ



少しの間だったが楽しかった
想像以上にお前はガサツで
あんなに笑ったのは
幼いとき以来だった

君を抱いたとき、この世の
終わりが来ても悔いは
ないくらい高揚した

その正義の刃で
俺の息の根を
止めてくれ

これで全部
終わる？

剣心のもとへ
帰れる…？

それ、本気で
言ってるの？

お前を失うという事は
すなわち生きる意味を
失うこと

人誅が
終わった今

お前以外に望む
ものは何もない

薫が俺を殺したいほど
嫌ったとしても

お前が好き

お前になら
殺されてもいいと
思っている

縁――



それ剣心に対して
巴さんも同じこと
思ってたんじゃないかな？



私は貴方を
殺めたりなんか
絶対しない



貴方を救うのは
復讐じゃなくて
私の言葉だつてこと
気が付いたから

もうしばらく
この島に居るわ

【不実を促す其の心】

2017年10月刊行

電子書籍版 再販2022年5月

サークル名:白虎桜花堂

pixiv：ベンジー (benji) userID: 40879394

転載禁止 | DO NOT REPOST
禁止转载





